

4. 環境負荷の少ない県庁を目指して

三重県庁では、県自らが消費者であり、事業者であるという立場に立ち、率先して環境負荷低減に取り組んでいます。平成11年度のISO14001認証取得してから4年目にあたる平成14年10月にシステムの見直しを行い、新たに16年度を目的達成年度としました。その目的・目標と平成14年度目標の達成状況は以下のとおりでした。

目的・目標と成果

各年度の目標及び平成16年度を達成年度とする目的は、大きく次の4項目です。

- ◆ 県の環境保全施策を定めた環境基本計画を進行管理する。
- ◆ どの部局においても共通に実施するオフィス活動での環境負荷を低減する。
- ◆ 施設・設備の運用に伴う環境負荷を低減する。
- ◆ 事業活動のうち、特に著しい環境影響が考えられる公共工事やイベントについて環境負荷を低減する。また、全ての部局において環境に有益な影響を与える事業を推進する。

(1) 環境基本計画

48の数値目標 平成22年度目標を50%以上達成できたのは、21項目でした。

平成9年度に策定された三重県環境基本計画では次の基本目標を定めています。

基本目標Ⅰ：循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築

基本目標Ⅱ：人と自然が共にある環境の保全

基本目標Ⅲ：やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造

基本目標Ⅳ：環境保全活動への参加と協働

4つの基本目標を達成するため、平成22年度を目標年度として48項目の具体的な数値目標を定めています。そのうち11項目の目標で100%以上の達成状況になっていますが、20項目については、50%未満の達成率にとどまっています。また、7項目については、根拠条例の改正等による事業の変更・廃止などにより、進行管理が困難となりました。

なお、詳細は資料編⑤をご覧ください。また、より詳しい内容については、「平成15年版環境白書」で紹介しています。

48の数値目標の達成状況

